

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	環境活動支援事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	02050211
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	竹内 英昭
				連絡先	380

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす
				施策	04	第4節 未来につなぐ環境を創る
				細施策	01	広域的な連携と市民総参加の活動の推進
				事務事業	01	市民環境団体活動支援事業
	予算事業名			会計コード	001	款 04 項 01 目 04 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	生活衛生、環境美化活動の活動団体である茅野市環境自治会の活動に対し負担金の交付、及び清掃活動による土砂処理を支援する。				
	現状と背景 （どうして）	各支部（区単位）、各地区（地区単位）からなる環境自治会はその地域の生活衛生や環境美化活動を実施している。戦後は衛生環境の向上のため、全市的に取り組む必要があったが、現在では環境美化活動も加わっている。その活動補助として会議運営費、清掃活動費等を補助する必要がある。又、清掃活動による土砂の処理が出来ない行政区があるため、対応が必要				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	環境自治会	地域住民	
		対象 （直接働きかける）	環境自治会			
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区コミュニティ運営協議会及び茅野市環境自治会連合会へ交付 ・残土処分場を持つ隣富興業との委託契約により処分場を確保する。 				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		一斉清掃による全市的な環境美化活動	実施回数	回	一斉清掃実施回数	2
		土砂処分場の確保	土砂処分場の確保	箇所	土砂処分場の確保	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		一斉清掃による廃棄物の収集量	収集量	t	可燃物収集量+不燃物収集量	*
		年間一斉清掃参加人数	年間総参加人数	人	一斉清掃+クリーンウォーク+アダプトプログラム参加人数	20,000

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	5,741,000	5,925,000	5,935,812	5,870,387	6,011,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	5,741,000	5,925,000	5,935,812	5,870,387	6,011,000	
職員数							
正規職員	人	0.02	0.02	0.02	0.02		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.02	0.02	0.02	0.02		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	102.00	106.00	106.00	106.00	109.00	
D （ ）	活動指標	実施回数	目標	回	2	2	2
			実績	回	2	2	2
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	土砂処分場の確保	目標	箇所	1	1	1	1
		実績	箇所	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	収集量	目標	t	15	15	15	
		実績	t	20	15	17	15
		達成率	%	133.33	100.00	110.67	100.00
	年間総参加人数	目標	人	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	人	21,743	17,486	18,793	14,968
		達成率	%	108.72	87.43	93.97	74.84

備考 平成24年度から成果指数に年間総参加人数を加える。

事務事業名	環境活動支援事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	02050211	
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	竹内 英昭	連絡先	380

期	目 標	実 績	課 題
第1期	①各区及び自治会との分別収集委託契約の締結を行う。 ②年度当初に各地区へ負担金を交付する。 ③春季クリーンウォーク、第1回上川アダプトプログラム及び一斉清掃の実施	①委託契約の締結 ②全地区へ4月に交付 ③4月10日(日)実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第2期	夏季市内クリーンウォーク、第2回上川アダプトプログラムの実施に向け、外来種駆除のPRし実施する。	夏季市内クリーンウォーク、第2回上川アダプトプログラム、7月2日に実施した。	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第3期	①秋季市内クリーンウォーク、第3回上川アダプトプログラム実施する。 ②家庭系廃棄物回収事業	①10月1日に秋季市内クリーンウォーク、第3回上川アダプトプログラム実施。 ②11月19日に実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第4期	平成29年新規役員体制により、総会の実施と、地区別分別講習会を行う。	1月28日総会を実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 歴史ある団体であり、現在の事業内容で無理なく継続されている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 行政と地元自治会との密接な関係が維持されているので、現状の維持が望ましい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	負担金は環境美化活動の補助金であり、又土砂処理支援も環境美化活動に必要なため共に継続的な予算措置が必要となる。															記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要					
	前年度総合評価判定															A					
	前年度評価シート整理番号															05020219					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	全市を網羅する環境自治会に対する活動補助であり、営利団体や民間企業で同じ業務を実施いただくより遙かに低コストで活動を実施いただいている。また、地域コミュニティとの連携の中で自助、共助のまち作りにも貢献いただいております、今後とも事業を継続すべきである。	全市を網羅する環境自治会に対する活動補助であり、営利団体や民間企業で同じ業務を実施いただくより遙かに低コストで活動を実施いただいている。また、地域コミュニティとの連携の中で自助、共助のまち作りにも貢献いただいております、今後とも事業を継続すべきである。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性 (A C T I O N)					改 革 ・ 改 善 策				
	平成20年度より、本補助事業及び環境衛生事業等委託事業については、負担金一斉化の上で、各コミュニティ運営協議会を經由して支出している。地域特有の問題に、より対応が出来る体制となったため、効果の増大が期待されるため、年度始期の負担金交付にする。地域組織の協力を得て事業を実施しており、市が実施したり、営利団体等へ依頼するよりも遥かに低価格で実施できている。今後も継続していくことが望ましい。地区コミュニティでの参加実施を働き掛け総参加人数を達成させる。又各地区で土砂を処理(活用)できるよう働	平成20年度より、本補助事業及び環境衛生事業等委託事業については、負担金一斉化の上で、各コミュニティ運営協議会を經由して支出している。地域特有の問題に、より対応が出来る体制となったため、効果の増大が期待されるため、年度始期の負担金交付にする。地域組織の協力を得て事業を実施しており、市が実施したり、営利団体等へ依頼するよりも遥かに低価格で実施できている。今後も継続していくことが望ましい。地区コミュニティでの参加実施を働き掛け総参加人数を達成させる。又各地区で土砂を処理(活用)できるよう働								

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	美サイクルセンター長	長 田 秀 彦
---------	------------	---------	------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		環境美化推進事業		事業期間	平成 9 ~ 年度	整理番号	02050102						
担当部署		市民環境部	美サイクルセンター	美サイクル推進係	作成担当者名	小平 光 昭	連絡先	72-2905					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす							
			施策	04	第4節 未来につなぐ環境を創る								
			細施策	01	広域的な連携と市民総参加の活動の推進								
			事務事業	05	美サイクル茅野活動支援事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	04	項	02	目	03	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成8年に設立された実践する提言団体の美サイクル茅野は、茅野市の環境美化活動及び環境教育の推進と循環型社会の実現に向けて、生活環境における課題別に部会を設けて課題解決の活動を進めている。特に、環境教育として具体的に環境副読本や手作り環境絵本を作成し配布している。											
	現状と背景 （どうして）	美サイクル茅野は、パートナーシップのまちづくりの生活環境の分野を担う団体として、ごみ減量とリサイクル活動の効率的推進や景観形成のあり方の提言を行い、その提言を具現化し、実践する活動を進めている。											
	目的	受益者 （誰のために）	市民										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	ごみ減量やリサイクルの推進のための意識の高揚と環境美化活動への参加並びに、環境教育への協力										
	手段・方法 （どうやって）	美サイクル茅野活動支援 美サイクル茅野、消費者の会等との協働により、レジ袋削減県民スクラム運動への協力・推進を図る。											
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		活動計画の事業数	活動計画事業数	件	当年度に目標とした件数				(*)				
									(*)				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		実施した事業数	実施した事業数	件	当年度に目標とした件数				(*)				
									(*)				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
	財 源 内 訳	事業費等 (a)	円	2,504,545	1,561,000	2,882,742	5,975,719	6,220,000
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円	23,000			11,280		
一般財源		円	2,481,545	1,561,000	2,882,742	5,964,439	6,220,000	
正規職員		人	0.08	0.08	0.08	0.08		
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
合 計		人	0.08	0.08	0.08	0.08		
活 動 指 標	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	45.00	28.00	52.00	108.00	112.00	
	活動計画	活動計画事業数	目標	件				
			実績	件	30	30	30	30
		達成率	%	-	-	-	-	
		成果指標	実施した事業数	目標	件			
	実績			件	24	24	24	24
達成率	%		-	-	-	-		
目標	件							
実績	件							
達成率	%	-	-	-	-			

備考 年度ごとに活動計画を決めるため、目標値の設定はしない。
市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 06020201

事務事業名	環境美化推進事業	事業期間	平成 9 ~	年度	整理番号	02050102	
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	美サイクル推進係	作成担当者名	小平 光 昭	連絡先	72-2905

期	目 標	実 績	課 題
第1期	美サイクル茅野の新規会員の募集。環境教育副読本を市内全小学校の小学4年生に配布する。また、環境絵本「やつがたけのちっち」も市内在住の年長児に配布する。	小学4年生529人、年長児500人に環境副読本、環境絵本を配付	環境についての学習・活動が続くように支援する
第2期	環境絵本やつがたけのちっちの舞台を親子で訪ねるちっちの旅を行う。環境ボランティア部会で各学校の環境学習・活動の情報交換等を行う。	地元の自然の豊かさ、大切さを知るちっちの旅を7月31日に実施。環境ボランティア部会を開催し情報交換を行い、エコフェスタでの展示発表の打合せを行う	環境についての学習・活動が続くように支援する
第3期	各学校の環境学習・活動をエコフェスタで展示発表	各学校の環境学習・活動をエコフェスタで展示発表し、その後、市役所ロビーでも展示した。環境絵本の展示、読み語りをエコフェスタで行った	環境についての学習・活動が続くように支援する
第4期	「やつがたけのちっち」だけでなく、購入・寄贈された他の環境絵本を保育園で巡回する	市内保育園を4グループに分け絵本巡回を行った。 なお、美サイクル茅野に、1名の新規会員が加わった。	環境についての学習・活動が続くように支援する

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 美サイクル茅野設立20周年記念事業として、モデル事業として指定地区にソフトバッグ等を配布する。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 美サイクル茅野設立20周年記念事業として、モデル事業として指定地区にソフトバッグ等を配布する。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	美サイクル茅野への新規会員の加入を図る。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
		前年度評価シート整理番号 02050111

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	持続可能な循環型生活に向けてごみ減量、3R活動、環境美化活動、環境学習など今後も公民協働の取組が必要とされる。						持続可能な循環型生活に向けてごみ減量、3R活動、環境美化活動、環境学習など今後も公民協働の取組が必要とされる。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	美サイクル茅野の新規会員を増やし活動を継続する。可燃ごみの減量のため、新たな施策に取り組む。						美サイクル茅野の新規会員を増やし活動を継続する。可燃ごみの減量のため、新たな施策として、紙類の分別の徹底に取り組む。この事業は、美サイクル茅野の20周年事業として位置付けする。事業系廃棄物についても、商工会議所を通じ減量を進める。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	美サイクルセンター長	長 田 秀 彦
---------	------------	---------	------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	環境保全対策事業	事業期間	平成 17 ~ 年度	整理番号	02040101
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘
				連絡先	266

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす								
				施策	04	第4節 未来につなぐ環境を創る								
				細施策	03	総合的な環境保全対策の推進								
				事務事業	01	環境基本計画推進事業								
画	予算事業名	環境保全対策事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	06	事業	02
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	自然公園内の現況確認、環境美化等をするためのパトロールの実施。 河川保全整備推進協議会の活動支援。 環境基本計画の計画期限が平成29年度のため、その後の計画について検討する。												
	現状と背景 (どうして)	軽微な服装で自然公園に入る人が多くなっており、登山道等の安全確保の必要性が求められている。また、登山マナーについても問題視されつつあることから、登山経験者等に現地確認を依頼している。												
	目的	対象	受益者 (誰のために)	市民										
		対象 (直接働きかける)	グリーンパートナー 河川保全整備推進協議会構成団体											
	意図 (どんな状態にしたいか)	登山道等公園施設の危険箇所早期発見、登山道に放置されているゴミの減少を図り、自然公園を安全、快適にする。 河川保全整備活動が円滑に進むようにする。												
A	手段・方法 (どうやって)	(グリーンパトロール) グリーンパートナーに年間5日以上のパトロール実施、及び年1回の報告書提出を依頼する。 この他、定期的にパトロールを実施する。 (河川保全整備推進協議会) 年間事業予定に基づき会議や要望書の提出等の各事業の準備・実施・反省を幹事等とともに実施する。 活動に参加している区には、保全意識の高揚や活動PRのための看板を制作し配布する。												
	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
N	活動指標	パトロール実施の増加	パトロール実施日数	日	年間延べ実施日数				200					
		グリーンパートナー会員数の増加	グリーンパートナー会員数	人	グリーンパートナー会員登録者数				30					
	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		危険箇所の情報量の減少	情報非収集率	%	$(1 - \text{情報収集件数} \div \text{パトロール実施日数}) \times 100$				100					
	ゴミ散乱指摘数の減少	ゴミ非散乱率	%	$(1 - \text{ゴミ散乱指摘件数} \div \text{パトロール実施日数}) \times 100$				100						

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	12,000	300,633	163,018	439,578	3,459,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円			30,904	30,704	29,000	
	一般財源	円	12,000	300,633	132,114	408,874	3,430,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.02	0.02	0.02	0.02		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.02	0.02	0.02	0.02			
対象(者)数	人							
延利用(者)数(b)	人							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	0.00	5.00	3.00	8.00	62.00		
D O	活動指標	パトロール実施日数	目標	日	150	150	200	200
			実績	日	186	180	180	190
		達成率	%	124.00	120.00	90.00	95.00	
		グリーンパートナー会員数	目標	人	30	30	30	30
	実績		人	38	39	36	36	
	達成率	%	126.67	130.00	120.00	120.00		
	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
	達成率	%	-	-	-	-		
	成果指標	情報非収集率	目標	%	100	100	100	100
実績			%	80	91	80	87	
達成率		%	80.00	91.00	80.00	87.00		
ゴミ非散乱率		目標	%	100	100	100	100	
	実績	%	90	98	90	95		
達成率	%	90.00	98.00	90.00	95.00			
備考	市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 04050202							

事務事業名	環境保全対策事業	事業期間	平成 17 ~	年度	整理番号	02040101	
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘	連絡先	266

期	目 標	実 績	課 題
第1期	(グリーンパートナー) 連絡会議の開催 (河川保全整備推進協議会) 活動のとりまとめ	(グリーンパートナー)5/26連絡会議 (河川保全整備推進協議会)活動計画、要望事項提出	なし
第2期	(グリーンパートナー)合同パトロールの開催 (河川保全整備推進協議会)全体会議の開催 (環境基本計画) 進め方の検討	(グリーンパートナー)8/5合同パトロール (河川保全整備推進協議会)8/25、9/26正副会長会議、9/29全体会議 (環境基本計画)進め方の検討、アンケート見直し	なし
第3期	(グリーンパートナー)合同パトロールの開催 (河川保全整備推進協議会)諏訪建への要望 (環境基本計画) 進め方の検討	(グリーンパートナー)合同パトロール雨天のため中止 (河川保全整備推進協議会)12/16諏訪建へ要望書提出	なし
第4期	(環境基本計画) アンケートの実施	(環境基本計画) 市民1500、事業所300、市内小学5年、中学2年生生徒を対象に実施	なし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 第二次環境基本計画の策定について、専門的な知識が必要であると感じる。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 第二次環境基本計画策定業務を委託する。	② ⑤ ⑦ ④ ⑥ ⑨ ③ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					4					レ	3	B

課 題	(グリーンパトロール) 登山者のマナー向上。 (河川保全整備推進協議会)「茅野市河川保全整備推進協議会」の主な活動は、一級河川の活動団体からの要望を取りまとめ、諏訪建設事務所へ提出していくというものであり、建設関連・バイパス対策室の業務内容と関連しているため、事務局は生活環境課より建設関連・バイパス対策室のほうがスムーズに行える。	記 号 の 定 義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 02040116

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
(グリーンパトロール) 会員数の増加とともに、年間の活動日数も増加しており、市民ボランティアによる山岳地域の環境美化活動が定着しつつある。	(グリーンパトロール) 会員数の増加とともに、年間の活動日数も増加しており、市民ボランティアによる山岳地域の環境美化活動が定着しつつある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止
事務事業と予算事業の事業内容の整合性を図る。 (河川保全整備推進協議会) 所管課替えの検討	②	⑤	⑦	レ	③	⑥	⑨	④	⑧	⑩
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
	(環境基本計画策定) 計画策定のため、H29は一時的に成果、コスト共に増大するが、H30以降は策定作業、関連費用ともに縮小し、例年並みに戻る。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生活環境課長	後 藤 浩 行
---------	------------	---------	--------	---------